

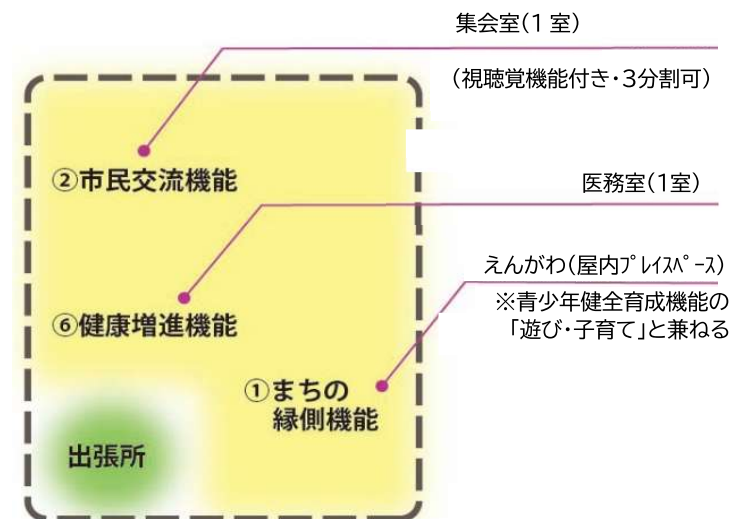
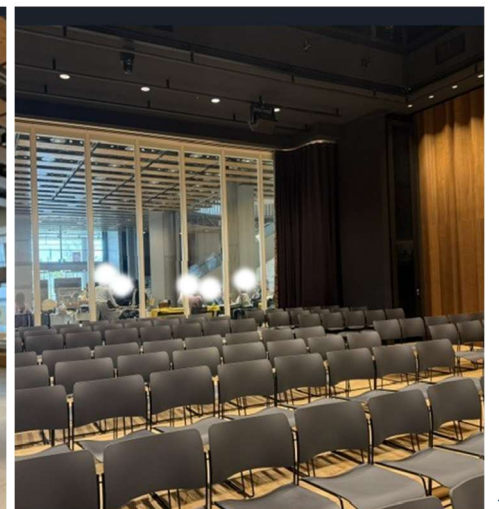
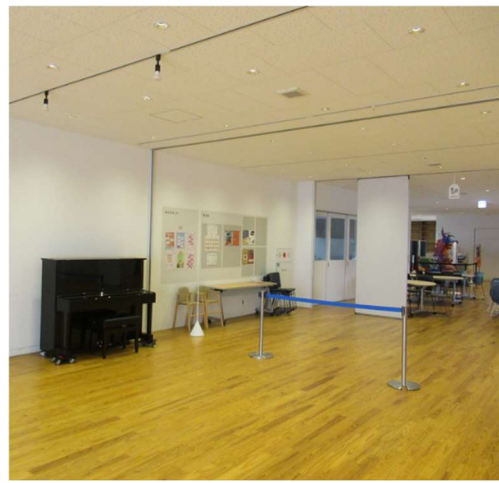
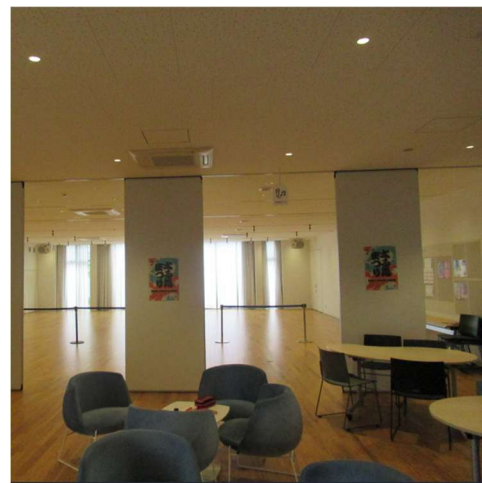
1階

賑わい交流フロアのイメージ

- エントランスからえんがわ(屋内プレイスペース)、屋外まで続くインパクトのある子どもが遊べるスペースを配置
- 多目的に使える集会室とえんがわ(屋内プレイスペース)を一体で使用し、イベントや映像視聴など幅広い楽しみ方ができる
- 子どもから高齢者まで楽しみ、集える多世代交流空間に

集会室のイメージ

- ・可動間仕切りを設置し、多様な人数に対応できる設えとします。
- ・会議や講座のほか、映像上演などを伴う啓発・研修、子どものボール遊びや体操など軽運動の実施も想定した設えとします。
- ・えんがわ(屋内プレイスペース)と一体的な使用も想定し、出来る限りオープンな設えとします。
- ・市民交流機能に加え、他の機能でも使用できる汎用室として設えます。



医務室のイメージ

- ・施設内における怪我や体調不良による一時休息等の専用室を設けます。



出張所のイメージ

- ・施設管理の観点から、出張所専用の出入り口を設けます。
- ・複合施設の開館時間にはえんがわを待合スペースとして利用できるように位置に配置します。

えんがわ(屋内プレイスペース)のイメージ

- ・子ども・子育て世代、場に関わる人など、滞在数や交流人口の増加への寄与をめざして、子どもが絵本を読んだり、体を動かしたり、自由に安全に遊ぶことができる場を設えます。
- ・集会室とも一体利用ができ、イベントなど多世代交流の場として幅広く使える空間とします。



2階

生きがい・健康づくりフロアのイメージ

- 各種講座などの生きがいづくりや気軽に健康づくりの一步が踏み出せるウェルビーイングなスペースを配置
- 料理室などの講座室とえんがわ(イベント・展示もできるフリースペース)との一体的な利用を可能とすることで、来訪者まきこみ型の取り組み実施や活動への参加意欲を高め交流促進につながる空間に

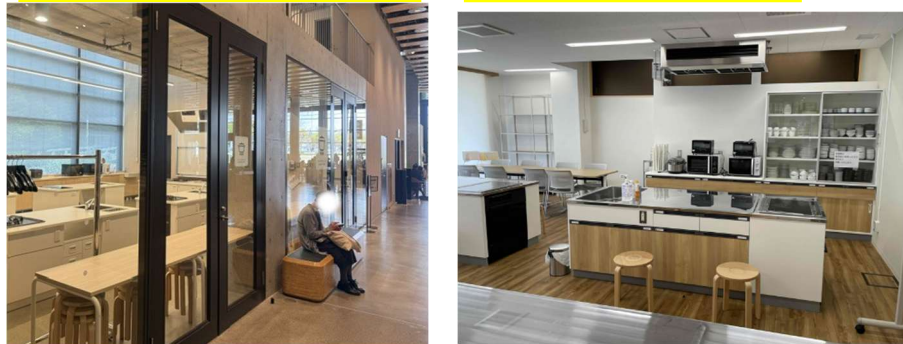
講座室のイメージ

- ・**可動間仕切を設置**し、多様な人数、様々な利用形態に対応できる諸室とします。
- ・参加意欲の向上につなげられるよう**内部の活動の様子がわかる**ような設えとします。
- ・**えんがわと一体的な使用も想定し、出来る限りオープンな設え**とします。
- ・生涯学習機能に加え、他の機能でも使用できる**汎用室**として設えます。



料理室のイメージ

- ・参加意欲の向上につなげられるよう**内部の活動の様子がわかる**ような設えとします。
- ・専用室として設えます。**調理と飲食の伴う催しや活動ができる**よう、講座室と近接した配置計画とします。
- ・**えんがわと一体的な使用も想定し、出来る限りオープンな設え**とします。



③生涯学習機能

①まちの縁側機能

⑥健康増進機能

料理室(1室)
音楽室(1室)、和室(1室)
講座室※他の機能と汎用
(4室。うち、独立1室、3室は一体使用可)

えんがわ
(イベント・展示もできるフリースペース)

健康づくりコーナー(えんがわ内)

音楽室のイメージ

- ・**防音性**のある専用室として設えます。
- ・音環境に配慮が必要な学習室等とは離れた配置計画とします。



和室のイメージ

- ・茶華道など講座に対応できる設えとします。
- ・**可動式の畳とするなど汎用性のある設え**とします。

えんがわ(フリースペース)のイメージ

- ・**ロビーやサロンの利用、催しや娯楽スペース**としての活用など、**交流しやすく多様な利用が可能な設え**とします。
- ・**諸室とえんがわを一体的に使用**できる開かれた場として設えます。



健康づくりコーナーのイメージ

- ・健康意識を高めるために、**軽い運動やマッサージ機などを配置するスペース**を設えます。



3階

暮らしと未来のサポートフロアのイメージ

- 各種相談に使用する相談室と学習室など“自分らしく生きることを支える”スペースと地域活動支援室といった“地域(人)を支える”スペースを配置
- 比較的静かな環境や作業などがはかどる空間に

相談室のイメージ

- ・相談しやすさとプライバシーに配慮し、**常時相談対応ができる専用室**として設えます。
- ・相談室は、他の相談でも使用できる設えとします。



地域活動支援室のイメージ

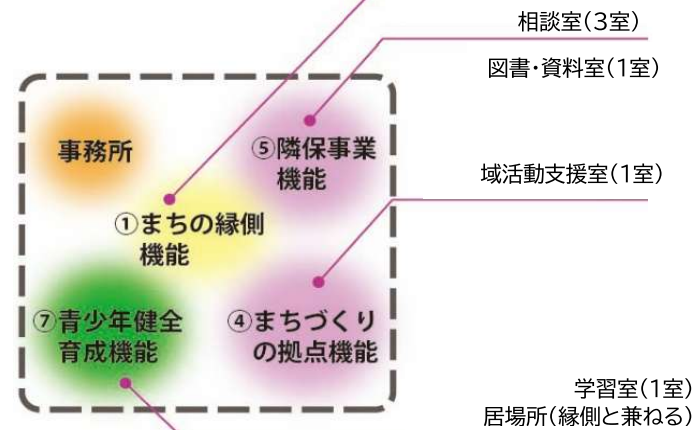
- ・地域のまちづくり活動の場として、**地域活動団体が利用できる専用室**として設えます。



図書・資料室のイメージ

- ・**図書や資料を配架する専用室**として設えます。

えんがわ(イベント・談話コーナーにもなるフリースペース)



学習室のイメージ

- ・**自主学習ができる専用室**として設えます。
- ・静かで集中できる位置に配置します。

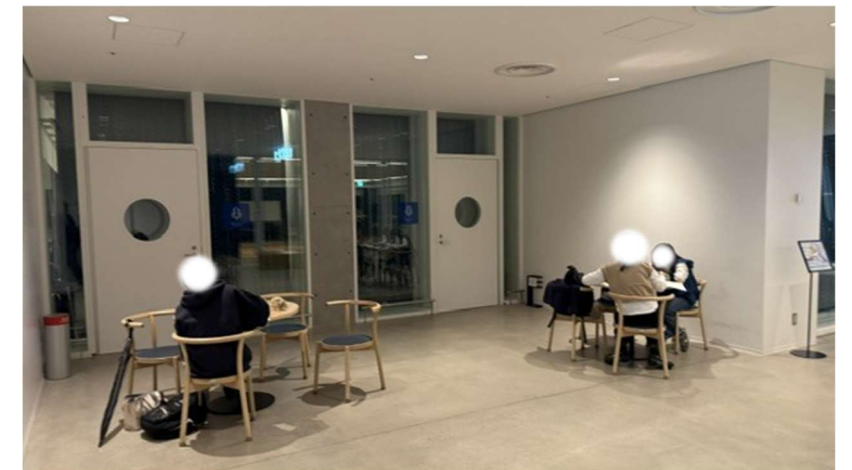


事務所のイメージ

- ・事務室は相談室の近くに配置します。**各階にはオープンカウンターを配置し、来訪される市民への案内や声掛けがしやすい設え**とします。
- ・事務室の一部に、専用の相談員室を設けます。

えんがわ(フリースペース)のイメージ

- ・ロビーやサロンのような利用、催しや娯楽スペースとしての活用など、**交流しやすく多様な利用が可能**な設えとします。
- ・**諸室とえんがわを一体的に使用**できる開かれた場として設えます。



居場所(えんがわと兼ねる)のイメージ

- ・子どもが自由に訪れ、一人でも、友達とでも利用できる居場所となる場を設えます。
- ・不登校児童生徒などの居場所については、諸室の利用状況を考慮して適宜確保します。

【今日のワークショップで皆さんの意見を頂きたいこと】

新しい施設にあったらいいと思う「モノ」・「コト」・「ヒト(つながり)」

- 本日のワークショップでは、新しい施設を、ふらっと立ち寄れる「えんがわ」のような居心地のいい居場所、みんなが「使ってみたい」「使いやすい」と思えるわざわざ来たくなる「とっておきスポット」にするためにアイデアをいただきたいと考えます。
- 各諸室の説明や先進事例の写真を参考にしたり、部屋の使い方や希望する活動のしかたなどを想像し、あったらいいと思う「モノ」・「コト」・「ヒト(つながり)」について、ひらめいたことをどんどん意見として出してください。

「モノ」・・・活動に必要な備品や設備、部屋の使い方についての希望など。

(例)音楽室をダンスもできるスタジオのように使いたい。そのために、大きな鏡がほしい。

絵画ができる部屋には水道がほしい。など

「コト」・・・誰もが使いやすくなるような工夫や、新しい施設での活動が拡がりのあるものにするために必要な取り組みや催しなど。

(例)サークルの活動をみんなに知ってほしいので作品の展示会を開きたい。

学習室が空いているときには、大人がテレワークで使えるような仕組みを作ってほしい。など

「ヒト」・・・新しい施設にいてたらよいと思う人、つながりを作ったり広げたりする仕組みについての希望など。

(例)各階に気軽に問い合わせをしたり、声を掛けられるコンシェルジュにいてほしい。

自分にあった活動などを紹介してくれる人や仕組みがほしい。

- 各階の部屋と部屋のつながりで希望することがあれば意見をください。

(例)音楽室と講座室は離れているほうがいい。給食会がしやすいように調理室とフリースペースを近くに配置してほしい。など

【注意!!】

各階に配置する機能と機能に位置づく諸室は、昨年度策定した「(仮称)八尾市立桂3館複合施設整備基本計画」で決定しているので、配置するフロアの変更はできませんのでご注意ください。

全体の進め方、テーブルごとの進め方については、ファシリテーターより説明してもらいます。